I·O DATA

2 Windows版 セットアップガイド MOA-Rシリーズ

M-MANU200035-02

本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、添付の「サポートソフト」内にあるオンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアル起動方法

①サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。
②[オンラインマニュアル]ボタンをクリックします。

※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/support/)にてQ&Aを用意しております。
本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

1 インストールする

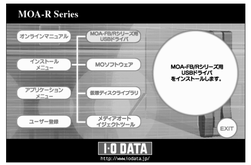
まだ本製品を接続しないでください。 本製品は手順2になってから接続します。

注意
●Windows XP/2000の場合
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。
●旧バージョンの「MOソフトウェア」がインストールされている場合
あらかじめ旧バージョンを削除してください。

1. パソコンの電源を入れます。
2. サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。
3. CDメニューが表示されます。CDメニューの[インストールメニュー]をクリックします。
4. 以下を順にインストールします。

※以下の4つのソフトウェアを必ずインストールしてください。
※その他のソフトウェアについては別紙「はじめにお読みください」の「添付ソフトについて」を参照して、必要に応じてインストールしてください。

自動的にCDメニューが表示されない場合は、[マイコンピュータ]からサポートソフト内にある[AUTORUN]アイコンをダブルクリックしてください。



①MOA-FB/Rシリーズ用USBドライバ(Windows 98(SE含む)のみ)
Windows 98(SE含む)の場合のみ、[MOA-FB/Rシリーズ用USBドライバ]をクリックしてインストールします。(Windows XP/2000/Meでは表示されません。)インストール後、パソコンを再起動します。

②MOソフトウェア
[MOソフトウェア]をクリックしてインストールします。
インストール後、パソコンを再起動します。
詳細については[オンラインマニュアル]を参照してください。

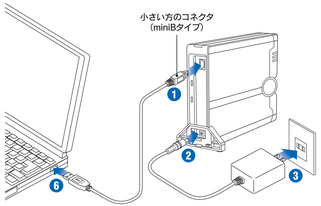
③仮想ディスクドライブラリ
[仮想ディスクドライブラリ]をクリックしてインストールします。仮想ディスクを使用する際に必要となるソフトウェアです。
詳細は[オンラインマニュアル]を参照してください。

④メディアオートイジェクトツール
[メディアオートイジェクトツール]をクリックしてインストールします。
インストール後、パソコンを再起動します。設定は本製品をパソコンに接続後、行ってください。(右の[3 設定する]参照)

2 パソコンに接続する

まだMOメディアはセットしないでください。

1. USBケーブルのコネクタ(miniBタイプ)を、本製品のUSBポートに接続します。
2. ACアダプタを本製品に接続します。
3. ACアダプタを電源コンセントに接続します。
4. 本製品の[電源・モードスイッチ]を[ON]にします。
5. USB機器(キーボード、マウスを除く)を全て取り外し、パソコンを起動します。
6. USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。



新しいハードウェア画面が表示されます。しばらくお待ちいただくと、画面は自動的に消えます。

こんな時には…

Windowsで「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない

[キャンセル]ボタンをクリックし、本製品をUSBポートから取り外します。
その後、再び[1 インストールする]から作業を行ってください。

Windows XPの場合

Windows XPにおいて接続するUSBポートがUSB 1.1の場合、本製品を接続すると以下のメッセージが表示されますが、異常ではありません。
[×]をクリックしてメッセージを閉じてください。



※Windows XP Service Pack 2ではメッセージが異なります。

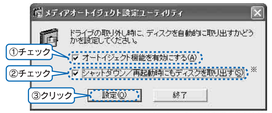
3 設定する

●インストールした「メディアオートイジェクトツール」を設定します。
(本製品をパソコンに接続した状態で設定します。)

※「メディアオートイジェクトツール」は、パソコン終了時、および本製品をWindows使用中に取り外す時に、自動的にMOメディアを取り出すためのツールです。

1. [スタート]→[すべてのプログラム](または[プログラム])→[I-O DATA]→[メディアオートイジェクトツール]→[設定ユーティリティ]をクリックします。
2. [オートイジェクト機能を有効にする]をチェックします。
[シャットダウン／再起動時にもディスクを取り出す]※にもチェックし、[設定]をクリックします。

※Windows Meでは利用できません。



※Windows Meでは利用できません。

3. [OK]ボタンをクリックします。
4. [終了]ボタンをクリックし、画面を閉じます。
5. パソコンを再起動させるか、裏面[本製品を取り外す]を参照して本製品を取り外します。

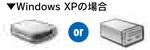
4 確認する

●本製品が正常に使えるかを確認します。

本製品を接続し、Windowsの[マイコンピュータ]を開き、「リムーバブルディスク」(または「光磁気ドライブ」)アイコンが表示されていれば本製品を使用できます。

表示されるアイコン

▼Windows XPの場合 or ▼Windows XP以外の場合



上記のアイコンが表示されていれば、本製品は正常に認識されています。

参考
Windows XPでは、本製品を最適なパフォーマンスで使用できるように設定することをおすすめします。
右記の[Windows XPでのパフォーマンス設定]をご覧ください。

こんな時には…

アイコンが表示されていない

アイコンが表示されていない場合は、オンラインマニュアル「困ったときには」の「本製品のアイコンが表示されない」をご覧ください。

Windows XP でのパフォーマンス設定

以下の手順で本製品を最適なパフォーマンスで使用できるように設定することをおすすめします。

注意
●Windows XPでのみ設定可能です。 ●毎回行う必要はありません。
一度設定すれば、本製品およびパソコンの電源を切った後、また、抜き差し等を行っても設定は有効です。(変更されません。)

1. [マイコンピュータ]を開き、本製品のアイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。

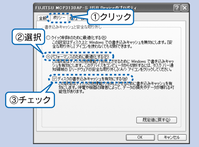


2. [ハードウェア]タブで本製品を選択し、[プロパティ]をクリックします。



注意
●本製品の表示
[FUJITSU MCx3xxAP USB Device]または[FUJITSU MCx3xxAP-S USB Device]と表示されます。
(xxxには英数字が入ります。)

3. [ポリシー]タブをクリックし、[パフォーマンスのために最適化する]を選択し、[ディスクの書き込みキャッシュを有効にする]をチェックします。



4. チェック後、[OK]をクリックします。
後は[OK]ボタンをクリックし、プロパティ画面を閉じます。

以上で最適なパフォーマンスに設定されました。

MOモードで使う

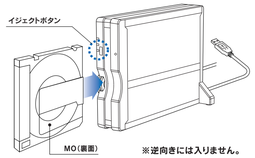
ここ以降および裏面では、本製品を通常のUSB MOドライブ(MOモード)としての使い方について説明します。
(仮想ドライブモードおよび仮想ディスクの使い方については別紙【④仮想ディスクを使う】を参照してください。)

MOメディアをセットする／取り出す

注意
●MOメディアのセット・取り出し時の注意
■アクセスランプが消灯していることを確認してから取り出してください。
■Windows XP/2000の場合は、MOメディアの挿入・取り出しはコンピュータの管理者(Administrators)権限グループに属するユーザーでのみ行えます。
■以下の取り出し手順はMOモードの場合です。
仮想ドライブ時は、本製品前面の[取り出し]ボタンを押して取り出します。

MOメディアを挿入する

1. MOメディアの表側を[イジェクトボタン]側に向け、MOメディア挿入口へカチッと音がするまでまっすぐに入れます。



※逆向きには入りません。

2. アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

●MOモード時のアイコン
MOモード時、本製品は[マイコンピュータ]上で[リムーバブルディスク](または[光磁気ディスク])アイコンとして表示されます。

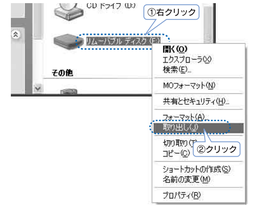
▼Windows XPの場合 or ▼Windows XP以外の場合



裏へ続く

MOメディアを取り出す

1. 本製品のアクセスランプが点滅していないことを確認します。
2. [マイコンピュータ]を起動し、[リムーバブルディスク](または[光磁気ドライブ])アイコンを右クリックし、表示された[取り出し]をクリックします。



3. 自動的にMOメディアが取り出されます。

注意
●本製品が認識できないMOメディアをセットした場合、本手順でのMOメディアの取り出しはできません。
イジェクトボタンによる取り出しを行ってください。
詳細は、オンラインマニュアル「困ったときには」の「MOメディアを取り出せない」参照。

注意
●ライトキャッシュ機能により、パソコン上では書き込みが終了しても、本製品は動作を続けている場合があります。データの保全のためMOメディアの取り出しは、本手順で行ってください。
●MOメディアを取り出せない場合は、添付のイジェクトピンで取り出すこともできます。
詳細は、オンラインマニュアル「困ったときには」の「MOメディアを取り出せない」参照。

MOメディアとしてフォーマットする［MOモード］

フォーマットしていないMOメディアを使用するには、一度フォーマットを行う必要があります。
下記の手順でフォーマット作業を行ってください。
※画面はWindows XPを例にしています。

注意 ●MOメディアに関する注意
- ■すでにお使いになっているMOメディアをフォーマットするとデータはすべて消去されます。必要なデータがある場合は、先にハードディスクなどにバックアップしてからフォーマットしてください。
- ■MOメディアに一部読み書きできない不良セクタができた場合は、そのMOメディアを使用しないでください。

●Windows XP/2000での注意
- ■コンピュータの管理者（Administrator）権限でログオンしてください。
- ■コンピュータの管理者グループに属するユーザーのみフォーマットすることができます。制限ユーザーがフォーマットするには、右の［権限を変更したい場合］をご覧になり権限を［全てのユーザー］に変更してください。

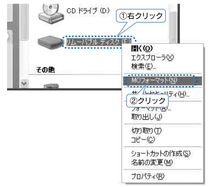
※Windows XPの場合、
権限変更はWindows XP Professionalでのみ可能です。
Windows XP Home Editionでは権限変更できません。

1 本製品にMOメディアをセットします。

参考 ●メディア挿入後、フォーマット画面が起動した場合は、画面を閉じ、そのまま手順 **2** へお進みください。

2 ［マイコンピュータ］を開きます。
- ●Windows XPの場合
  ［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
- ●Windows 2000/Me/98（SE含む）の場合
  ［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

3 ［MOフォーマット］を起動します。
［リムーバブルディスク］（または［光磁気ドライブ］）アイコンを右クリックし、表示されたメニュー内の［MOフォーマット］をクリックします。



注意 ●表示されたメニュー内に［MOフォーマット］と［フォーマット］がある場合［MOフォーマット］をクリックしてください。
［フォーマット］では正常にMOメディアをフォーマットできない場合があります。

4 画面の［フォーマット設定］を設定後、［開始］をクリックします。



項　目	説　明
メディア情報	挿入したMOメディアの情報が表示されます。 未フォーマットのMOメディアの場合は、［フォーマット形式］や［ファイルシステム］は［不明］と表示されます。
フォーマット形式	以下の2つから選択できます。 通常は［スーパーフロッピー形式］を選択してください。 ■スーパーフロッピー形式　■ハードディスク形式
ファイルシステム	以下の2つから選択できます。 通常は［FAT16］を選択してください。 ■FAT16　■FAT32 参考：Windows 95 OSR2以前では［FAT32］には対応しておりません。
ボリュームラベル	必要に応じて入力してください。
フォーマットオプション	通常チェックする必要はありません。 ［物理フォーマット］は、一度フォーマットしたことのあるMOメディアで、その際に一部読み書きできない不良セクタができていた場合にチェックします。

5 後は画面の指示に従ってフォーマットしてください。



フォーマットが終了すると自動的にMOメディアが取り出されます。
以上で、MOメディアはフォーマットされました。

注意 ●フォーマットしたMOメディアは一度［スキャンディスク］をかけることをおすすめします。
［スキャンディスクのかけ方］
①マイコンピュータ上の［リムーバブルディスク］（または［光磁気ドライブ］）アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。
②［ツール］タブをクリックし、［チェックする］ボタンをクリックします。
③［開始］ボタンをクリックします。スキャンディスクが実行されます。終了するまでお待ちください。

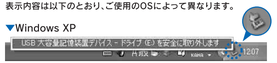
パソコンから取り外す［MOモード］

パソコンの電源が入っている状態で本製品をパソコンから取り外す場合は、以下の手順を行います。

1 ［リムーバブルディスク］アイコンの右クリックで、本製品からMOメディアを取り出します。

2 タスクトレーの［デバイスの取り外し］アイコン※をクリックし、出てきた表示をクリックします。
※Windows Me/98(SE含む)の場合は［メディアオートイジェクトツール］アイコン
表示内容は以下のとおり、ご使用のOSによって異なります。

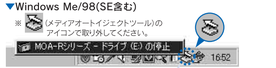
▼Windows XP



▼Windows 2000

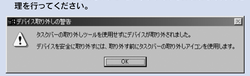


▼Windows Me/98(SE含む)

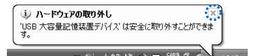


注意 Windows Me/98での［デバイスの取り外し］アイコンでは取り外さないでください。
Windows Me　Windows 98

注意 ●Windows 98（SE含む）で［メディアオートイジェクトツール］アイコンで取り外しを行うと以下の警告画面が表示されますが、問題ありませんので［OK］ボタンをクリックし、そのまま取り外し処理を行ってください。



3 メッセージを確認して閉じます。
▼Windows XPでの例



▼Windows 2000での例



この状態で本製品を取り外すことができます。

権限を変更したい場合（Windows XP/2000）［MOモード］

Windows XP/2000でMOメディアのフォーマットやイジェクトは、
通常、管理者（Administrator）権限のグループに属するユーザーのみが可能です。
［リムーバブルメディア フォーマット／イジェクト権限変更ツール］を使って以下のように設定すれば、
すべてのユーザーでMOメディアのフォーマットやイジェクトを行うことできるようになります。

注意 ●権限変更を行えるのは、管理者（Administrator）権限のグループに属するユーザーのみです。
※Windows XPの場合、
権限変更はWindows XP Professionalでのみ可能です。
Windows XP Home Editionでは権限変更できません。

参考 ●［リムーバブルメディア フォーマット／イジェクト権限変更ツール］は、添付サポートソフトCD-ROMから［MOソフトウェア］をインストールすれば、同時にインストールされます。

1 コンピュータの管理者（Administrator）でログオンします。

2 ［スタート］→［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［I-O DATA］→［MOソフトウェア］→［リムーバブルメディアフォーマット／イジェクト権限変更ツール］を順にクリックします。

3 権限を変更します。変更後、［変更］をクリックします。



注意 ●ユーザー権限でお使いになる場合
パソコンの電源を入れる前に、本製品をパソコンに接続し、パソコンの電源を入れてお使いください。
パソコンの電源を入れた後で接続した場合、正常に権限が変更されず、フォーマット／取り出しが正常にできなくなります。その場合は、コンピュータの管理者（Administrator）グループに属するユーザーでログオンしなおすか、本製品を接続したまま、Windowsを再起動してください。

4 ［OK］をクリックします。
Windowsを再起動後、権限が変更されます。

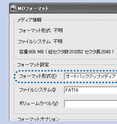
オートバックアップメディアを使う［MOモード］

オートバックアップメディアを使用すれば手軽にバックアップしたり、バックアップしたデータをリストア（復元）することができます。

注意 ●オートバックアップメディアを使用するには、［仮想ディスクライブラリ］をインストールしておく必要があります。

オートバックアップメディアとしてフォーマットする

最初にMOメディアをオートバックアップメディアとしてフォーマットする必要があります。
フォーマットは［MOフォーマット］で行います。
左の［MOメディアとしてフォーマットする］を参照して［フォーマット形式］を「オートバックアップメディア」に設定してフォーマットしてください。

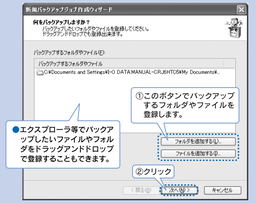


オートバックアップメディアの設定（初回のみ）とバックアップ

オートバックアップメディアへバックアップするには最初にバックアップするフォルダやファイルを設定する必要があります。

1 オートバックアップメディアを本製品にセットします。

2 メディアセット後、以下のバックアップ設定用の画面が表示されます。
［フォルダを追加する］あるいは［ファイルを追加する］ボタンでバックアップしたいフォルダやファイルを登録します。複数のフォルダやファイルを登録できます。
登録後、［次へ］をクリックします。

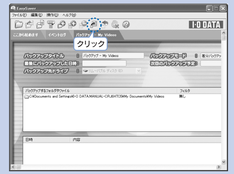


3 オプション設定画面で以下のいずれかをチェック後、［次へ］をクリックします。

フルバックアップ	バックアップ対象のフォルダやファイルを、常に全てバックアップします。 万一、バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。
差分バックアップ	バックアップ対象のフォルダやファイルの内、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。 変更されたもののみバックアップしますので、［フルバックアップ］に比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。

4 ［バックアップジョブのタイトル］を設定後、［完了］をクリックします。
［デジカメデータ］などわかりやすい名前でつけておくと便利です。
ここまででバックアップの設定は終了です。

5 以下の画面が表示されます。
実際にオートバックアップメディアへバックアップします。［バックアップ］をクリックするとバックアップが開始されます。



6 正常にバックアップが終了すると、オートバックアップメディアが自動的に取り出されます。

参考 ●次回からはオートバックアップメディアをセットすれば設定した内容で自動的にバックアップされます。
●オートバックアップメディアでバックアップを行わないようにするには、［Shift］キーを押しながら、オートバックアップメディアを挿入してください。バックアップは行われません。

注意 ●一度このバックアップ設定作業を終了すると、次回から自動的にバックアップが開始されこの画面は表示されません。

参考 **●メディアをセットしても画面が表示されない場合**
［仮想ディスクライブラリ］がインストールされていない可能性があります。［仮想ディスクライブラリ］をインストールしてください。

バックアップしたデータをリストア（復元）する

バックアップしたデータをリストア（復元）する場合、以下の手順を行います。

1 バックアップしたオートバックアップメディアを本製品にセットします。

2 メディアセット後、以下の画面が表示されます。［実行しない］をクリックします。



3 以下の画面の、［リストア］をクリックします。



4 バックアップされているフォルダやファイルをクリック後、［次へ］をクリックします。

5 リストアしたいバックアップフォルダやファイルの日時を選択後、［完了］をクリックします。
※初期状態では最新のバックアップフォルダやファイルの日時が選択されます。

6 リストアを開始します。
リストア先にすでにファイルがある場合は［ファイルの上書きの確認］画面が表示されます。
上書きする場合は［はい］を、しない場合は［いいえ］をクリックします。［すべて上書き］をクリックすると、すべてのファイルを上書きします。［キャンセル］をクリックするとリストアを中断します。

7 リストアが正常に終了すると、画面下に［リストアを完了しました。］と表示されます。

8 画面を閉じるとオートバックアップメディアが自動的に取り出されます。
以上でリストアは終了です

参考 ●正常にバックアップやリストアが終了しない場合、バックアップおよびリストア対象のファイルやフォルダが他のアプリケーション等で使用されている可能性があります。そのような場合、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップやリストアを行ってください。

注意 オンラインマニュアルを見る際のご注意
Windows XPにService Pack 2がインストールされた環境では、下のメッセージが表示される場合があります。
［今後、このメッセージを表示しないのチェックを外して、［はい］ボタンをクリックします。
⇒取扱説明書に記載されている最初の画面が表示されます。



参考 **［いいえ］ボタンをクリックした場合**
①下の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックしてください。
⇒オンラインマニュアルが表示されます。



②この場合、一部の機能が正しく動きません。情報バーをクリックし、表示された［ブロックされているコンテンツを許可］をクリックしてください。



③下の画面が表示されます。［はい］ボタンをクリックしてください。
⇒オンラインマニュアルが正しく動きます。

